

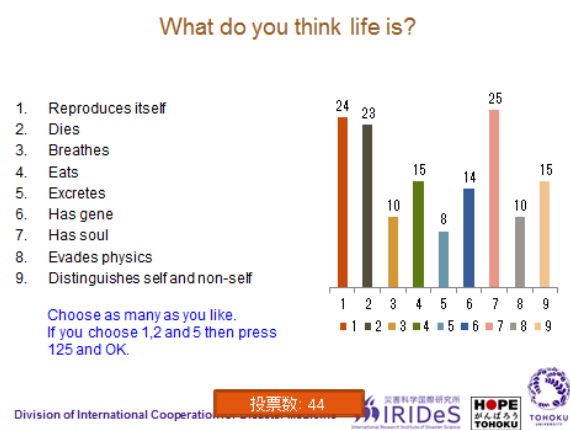
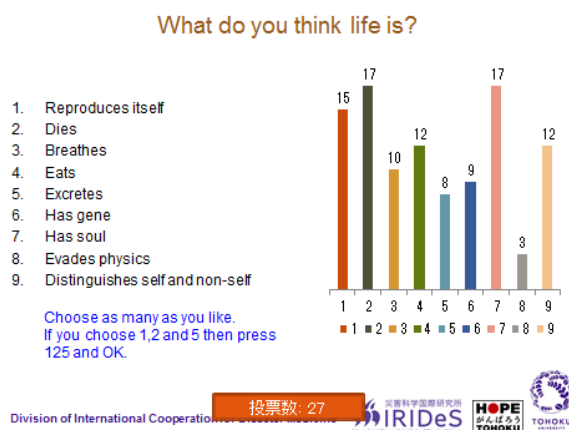
APRU サマースクール、あしなが育英会で世界の大学院生に講義しました。(2014/7/22, 8/8)

場所：北門会館、工学部総合研究棟（仙台市）
テーマ：「生命とは何か、広域巨大災害に対する医療対応」

7月22日（火）には APRU のサマースクールで東北大学を訪れた約 40 名、また 8 月 8 日（金）にはあしなが育英会の企画で東北大学を訪れた約 40 名の世界各国からの大学院生たちに対して江川新一教授が災害医療に関する講義を行いました。いずれもアンサーパッドを用いたリアルタイムでの集計を行い、「命とはなにか?」「巨大災害時の医療対応」について双方向性の授業となりました。

大学院生たちは、アンサーパッドによって、サインインをしたのち、年齢、性別などの項目によってアンサーパッドの操作方法に慣れていき、最初の「生命とはなにか?」という質問を与られます。選択肢には、自己複製をする、死亡する、食物を摂取し、排泄をするなどのほかに、物理学の法則に従わない、魂を持つなどまであります。下図のように、『物理学の法則に従わない』を選択したものが APRU では 3/27 (11.1%)であったのに対し、あしなが育英会では 11/44 (22.7%)でした。7 月に東北大学工学部の修士課程学生では 20/179 (11.1%)であったことから、10–20%の学生しか選ばない選択肢となります。生命の不思議さは、1944 年に Erwin Schrödinger が Living matter evades the decay to thermodynamical equilibrium by homeostatically maintaining negative entropy in an open system. (in “What is Life”) と述べています。学生たちは、このようなブレインストーミングによって、物事にはいろいろな捉え方があることを学びます。

東日本大震災前のわが国の災害に対する保健・医療の備えと、現実起きたニーズと支援のミスマッチ、災害関連死亡など災害のリスク減少を考える際に、人々の健康を中心に据えることの大切さを話しました。保健・医療関係の仕事に就こうと考えている学生は少なかったのですが、2回とも、大学院生たちは非常な興味を持って聴講し、活発な質疑応答がありました。国際的な災害対応の向上につながれば幸いです。



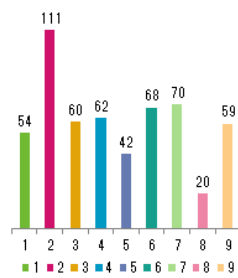
APRU での「生命とは何か?」に対する回答

あしなが育英会での「生命とは何か?」に対する回答

あなたの考える生命とは何か？
What do you think life is?

1. 自己を複製する Reproduces itself
2. 死ぬ Dies
3. 呼吸をする Breathes
4. 食べる Eats
5. 排泄する Excretes
6. 遺伝子を持っている Has gene
7. 魂がやどっている Has soul
8. 物理学の法則に従わない Evades physics
9. 自己と外界を区別している Distinguishes self and non-self

いくつでも選択可
Choose as many as you like.
If you choose 1, 2 and 5 then
press 125 and OK.



投票数: 179

東北大学工学部修士課程での「生命とは何か？」
に対する回答

What is life?



Erwin Schrödinger

生物体は負のエントロピーを食べて生きている
Living matter evades the decay to thermodynamical equilibrium by homeostatically
maintaining negative entropy in an open system. (In "What is Life" 1944)

Watson & CrickによるDNA二重らせん構造の決定 1953

Division of International Cooperation for Disaster Medicine

Erwin Schrödinger の紹介

文責：江川新一（災害医学研究部門）